

リハビリテーション科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科部長 田沼 明

このプログラムは、静岡県東部地域で日本リハビリテーション医学会研修施設に認定されている病院群で運営されています。伊豆は早くからリハビリテーション病院が多く存在する地域です。このプログラムではそのような地域の中核となる歴史あるリハビリテーション病院に加えて県立静岡がんセンターで研修することができるので、症例のバリエーションが豊富です。リハビリテーション専門医になるのに十分な経験が積めるこのプログラムで私達と一緒にリハビリテーションの勉強をしてみませんか。

ご連絡をお待ちしています。



2 目的

- 1) 日本リハビリテーション医学会専門医の育成
- 2) リハビリテーションチームを率いることのできる医師の育成
- 3) 地域医療との連携ができる医師の育成

3 目標

- 1) 日本リハビリテーション医学会専門医を取得する
- 2) 日本リハビリテーション医学会研修プログラムに沿った研修をおこなう
- 3) 日本リハビリテーション医学会専門医試験受験に必要な下記領域の症例を経験する
 - ・脳卒中、その他の脳疾患（脳外傷）
 - ・脊髄損傷、その他の脊髄疾患（二分脊椎など）
 - ・関節リウマチ、その他の骨関節疾患（外傷を含む）
 - ・脳性麻痺、その他の小児疾患
 - ・神経及び筋疾患
 - ・切断
 - ・呼吸器・循環器疾患
 - ・その他（悪性腫瘍、熱傷など）
- 4) 嚥下造影検査を 50 例以上経験する
- 5) 日本リハビリテーション医学会学術集会で通算 2 題以上発表する
- 6) リハビリテーション医学に関する論文を作成する

4 特徴

プログラム参加病院群を回ることにより、回復期リハビリテーション病棟だけでなく、急性期のリハビリテーション医療やがんに対するリハビリテーションを経験することができるため幅広い知識が得られるものと思います。

5 研修カリキュラム

日本リハビリテーション医学会専門医制度卒業研修カリキュラムに準じた研修を行います。

(http://www.jarm.or.jp/wp-content/uploads/file/member/member_system_specialist_curriculum.pdf)

6 研修例

研修医の希望を勘案し、日本リハビリテーション医学会専門医制度卒業研修カリキュラムで求められている研修内容を充足できるよう研修病院を組み合わせます。

【例】

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	NTT 東日本伊豆病院											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	順天堂大学医学部附属静岡病院・中伊豆リハビリテーションセンター											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	県立静岡がんセンター											

7 研修病院群（50音順）

NTT 東日本伊豆病院

指導責任者数 1名、専門医数 1名

指導責任者 鯉田俊哉、専門医 黒澤崇四

特徴

脳卒中の回復期リハビリテーション（以下リハ）を中心に、患者様のADLの改善及び自宅・社会復帰を目標に365日リハを実施しています。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー等の専門スタッフがチームを組み、各種カンファレンスで情報を共有化し、患者様の自己決定を十分に尊重した上でリハゴール、入院期間、退院先、退院後の在宅サービスなどを決定しています。退院された患者様のニーズに合わせて、通院リハも積極的に実施しています。地域リハの一環として、通所・訪問リハにより、退院された患者様の在宅生活援助を行っています。嚥下障害には、嚥下造影検査での評価に始まり、スタッフ一丸となった嚥下訓練を実施、胃瘻造設までの一貫したアプローチを行っています。

順天堂大学医学部附属静岡病院

当院は大学病院の分院であると同時に三次救命センターと総合周産期母子医療センターも併設し、ドクターヘリも常駐する静岡県東部の基幹病院です。このため急性期の外傷、脳血管、循環器疾患から新生児、内科的慢性疾患、癌患者までほぼ全科から依頼があり、PT, OT, ST が互いに協力し多種多彩の疾患に早期介入リハビリテーション治療をおこなっています。

静岡県立静岡がんセンター

指導責任者数 1 名

指導責任者 田沼 明

遠くに駿河湾を臨み、富士山の裾野に位置する「静岡県立静岡がんセンター」。

国内最高水準のがん専門病院として患者さんからの評価が高い当病院では、最新医療を行うことはもとより、患者さんの心のケアに主眼を置いた、患者さん本位の病院作りを進めています。

当病院はリハビリテーション科専門医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を配置し、リハビリテーション科を標榜したわが国初のがん専門病院です。院内のさまざまな科から依頼があり、予防・回復・維持・緩和のすべての期に対応しておりますので、リハビリテーション科専門医を取得するのに必要なさまざまな症例を経験することができます。

中伊豆リハビリテーションセンター

指導責任者数 1 名

指導責任者 園田 昌毅

昭和 48 年設立の当センターは、平成 23 年に新病棟が完成、個室化がすすみ入院環境はきわめて良好です。リハビリテーション治療には、歩行分析用の大型床反力計、3次元動作解析装置、ロボットスーツ HAL 等が導入され、自動車運転の教習には、ドライビングシュミレーター、さらに平成 24 年からは、センター内に自動車運転教習場が完成、実車での教習評価をおこなっています。また嚙下造影検査は、年間約 150 例おこなっています。

当センターでの研修により、薬物療法(ボトックス注射含む)、理学療法、作業療法、言語療法、義肢装具療法などの治療法に関する知識および手技を習得することが可能です。また、「整形外科専門医研修施設」でもあるため、適宜、整形外科研修も可能です。

8 病院群の実績（平成 26 年 1 月～12 月）

	NTT東日本伊豆病院	静岡県立静岡がんセンター※	農協共済中伊豆 リハビリテーションセンター	順天堂大学医学部附属静岡病院
脳卒中、 その他の脳疾患（脳外傷）	182	200	207	
脊髄損傷、 その他の脊髄疾患（二分脊椎など）	13	30	57	
関節リウマチ、 その他の骨関節疾患（外傷を含む）	213	250	81	
脳性麻痺、 その他の小児疾患		20	0	
神経及び筋疾患		5	13	
切断		5	1	
呼吸器・循環器疾患		250	27	
その他（悪性腫瘍、熱傷など）	25	1100	7	
処方・依頼総数	433	1900	393	

※は平成 25 年の実績

9 研修期間

本プログラムにおける研修期間は原則 3 年間です。ただし、状況により個別に対応可能です。

10 プログラム参加者の要件

- 1) 初期研修を修了していること
- 2) リハビリテーション専門医取得を希望していること
- 3) 本プログラムに賛同すること

11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

12 プログラム修了後の進路

個別に相談に応じます。

13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科部長 田沼 明（1996年慶應義塾大学医学部卒）

静岡がんセンターでがんのリハビリテーションに携わっているために「がんのリハビリテーション研修会」の講師も務めております。研修会に参加するとがんのリハビリテーションの必要性の認識が年々高まっていることを実感します。皆さんも一緒にがんのリハビリテーションについて学んでみませんか。

静岡県東部は東京からそれほど遠くありません（東京から三島まで新幹線ひかり号で44分）し、山あり海あり温泉ありレジャー施設ありととても住みやすい地域です。本研修プログラムへの参加をお待ちしています。



NTT 東日本伊豆病院 リハビリテーション科部長 鯉田 俊哉（1986年 防衛医科大学校）

兵庫県姫路市出身（姫路城天守閣は現在大規模改修中で見られないのが残念）。趣味は、野球をやること（捕手）、観ること（タイガースファン）、カラオケ（坂本冬美にはまっています）、飲み屋でいろんな人と出会い語ること。

1986年防衛医科大学校卒業（第7期生）。その後、航空自衛隊百里基地医官（1等空尉）、防衛医科大学校病院リハ部、都立東大和療育センター訓練科、湯河原厚生年金病院リハ科での勤務を経て、現在に至ります。100床の回復期リハ病棟を4名の医師で切り盛りしていますが、私も30～35名の患者の主治医として、合併症の管理、カンファレンス、患者・家族との面談、各種書類作成（膨大な量の紙との戦いで自称「ペーパードクター」）など、忙しい毎日を過ごしています。さあ後期研修医のみなさん、一緒にリハ医療に励んでみませんか？

中伊豆リハビリテーションセンター

リハビリテーション科部長 園田昌毅（1986年 千葉大学医学部卒）

伊豆の豊かな自然環境の中で、比較的先端のリハビリテーション医療を提供しており、地域からの信頼も厚く、職員全員が生き生きと仕事をしています。常勤医師6名（伊東市の併設クリニックを含む）歯科医師1名で、リハビリテーション科、内科、循環器内科、脳神経外科、整形外科を標榜しています。理学療法士30名、作業療法士28名、言語療法士5名などと協力しながら治療をおこなっています。